広島大学高等教育研究開発センター・教育本部主催　第 1 回公開研究会
（広島大学高等教育研究開発センター　第 7 回公開研究会）
広島大学第 13 回スーパーグローバル大学創成支援事業公開セミナー

アメリカの大学における教養教育ー現状と課題ー

Liberal and General Education in the United States of America: Trends and Issues

講演者　スーザン・アルバティーン氏（Dr. Susan Albertine）
American Association of Colleges and Universities (AAC&U)
大阪大学高等教育・入試開発センター特任教授

開催日時　2017 年 11 月 13 日 (月)　16:10～18:00

開催場所　総合科学部第 1 会議室

参加対象　どなたでもご参加いただけます　※通訳あり

主　　催　広島大学高等教育研究開発センター
広島大学教育本部
共　　催　広島大学総合科学部

アメリカの約 1,400 大学が加盟する全米大学・カレッジ協会(The Association of American Colleges & Universities, AAC&U)の元副会長で、現在、大阪大学特任教授でもあるスーザン・アルバティーン氏をお招きし、アメリカの大学における教養教育の現状と課題についてご講演いただきます。AAC&U は 100 年以上の歴史を有する教養教育の団体です。

日本では、戦後に一般教育を重視した新制大学が発足して以来 70 年近くが経過しました。1991 年の大学設置基準の大綱化によって一般教育と専門教育の区分が廃止されると、専門教育の重視によって教養教育が後退する傾向が強まり、加えて実施責任体制の弱体化や人的・物的資源の不足も指摘されるようになりました。しかし、グローバル化が進行し、社会が大きく変化する中で、大学における教養教育は改めて見直されるべき時期にきています。

そこで、本講演会では、戦後に日本がモデルとしたアメリカの大学の教養教育について、その歴史的展開と現状・課題について学び、改めて日本の課題を考えるための機会にしたいと思います。

※本企画は、広島大学高等教育研究開発センター 国際共同研究推進事業－大学における教育研究の生産性向上に関する国際共同研究－（平成 28～33 年度）の一環として取り組まれています。